

令和元年度 皇學館中学校授業公開Day 時間割一覧

日付	時限	学年	組・講座	授業場所	教科名	活動名・単元名	活動内容・活動のねらい	テーマ	授業者
6月23日(日)	2限目 (9:50～10:40)	1年	A組	理科室	理科	ニワトリの頭部の解剖	ニワトリとヒトの体や運動の仕方の違いを述べさせ、グループごとに発表させます。特に飛ぶことがニワトリの脳の小脳に関係し、鳥類には、その部分が大きく占めていることに気づかせます。	アクティブラーニング	小林 晃
			B組	セミナーホール(3F)	音楽	成人になる中間点での声の出し方	パートの音の取り方やことばの表現の仕方について、自身の歌う様子をグループ内でタブレットPCにて撮影していきます。そうした活動を通じて、歌い方や音の取り方を生徒たちが声をかけあい、自ら改善・向上を図るように働きかけていきます。	アクティブラーニング・ICT活用	小川 千鶴
		2年	A組	2A教室(2F)	理科	生命を維持するはたらき	生物体をつくる基本単位である細胞や、細胞の集合体である動物の生命維持や生活について学びます。これらの学習を通じ、生徒自身の体への理解及び日常の健康な生活の増進にも生かせるようにします。	ICT活用	中野 黎
			B組	2B教室(2F)	家庭	中学生に必要な栄養について	食生活分野の既習事項のまとめとして、スクラッチを使用し、栄養素のはたらき、中学生に必要な栄養等を楽しみながら確認し、知識の定着をはかります。	ICT活用・プログラミング学習	谷水 美智留
		3年	S講座	選択③(3F)	国語	「和語漢語外来語」	日常生活の中の会話や文章で使用される「和語・漢語・外来語」について、語の成り立ちや特徴を理解し、相手や場面に応じて、言葉を適切に使い分けの力を養います。	アクティブラーニング・ICT活用 グローバル教育	岩崎 真理
			α 講座	3A教室(2F)	英コミュ	Can You Draw This?	英語による説明を聞きながら絵を描くといったペアワーク等のコミュニケーション活動を通して、位置を表す前置詞を理解・活用できるようにします。	アクティブラーニング・ICT活用	エリック・ハモンド
	3限目 (10:55～11:45)	1年	β 講座	3B教室(2F)	英語	オンライン英会話レッスン「自己紹介 Myself」	ネイティブ講師とのマンツーマン形式によるオンライン英会話を行います。「自己紹介」をトピックに、学校・友達・町・家族に関する紹介や講師との対話を通して、自己発信力やコミュニケーション力向上を図ります。	ICT活用・グローバル教育	小林 誠治
			S講座	選択③(3F)	数学	大きな数と小さな数の表し方	既習内容を応用させ、大きな数や小さな数をどのように表せばよいのかを考え、世界の人口や細かな長さを簡単に表現する方法を考えます。	アクティブラーニング	田中 孝昌
			α I 講座	1A教室(2F)	英語	オンライン英会話レッスン『「何か」をたずねよう』	外国人講師とのオールイングリッシュによるマンツーマンレッスンを実施します。実際に英語を使う体験を通じて、自分の英語が通じるという喜びを感じさせ、積極的に英語でコミュニケーションをとろうとする態度を育みます。	アクティブラーニング・ICT活用 グローバル教育	橋本 真人
		2年	α II 講座	1B教室(2F)	数学	文字式の利用	自分の考えを発表し講座の生徒全員で意見を共有させ、並べられた数や量について規則性を発見し、文字式を利用して一般的に表すことですべての数について説明できるようにします。	アクティブラーニング	吉田 康人
			S講座	選択②(3F)	英コミュ	Telling Stories	グループで協力し合い、昔話を英語のスキットにします。グループ活動を通じて、身に付けている英語を実際に活用することで、英語力を養います。	アクティブラーニング・ICT活用	ゴードン・ダンフォード
			α 講座	2A教室(2F)	数学	式の計算	出された課題に対してグループワークを用いて問題を解きます。生徒同士での話し合いを通して、式の計算による工夫に主体的に気づき、理解を深められるようにします。	アクティブラーニング	西 巧
		3年	β 講座	2B教室(2F)	国語	言葉2 敬語	敬語の種類と基本的な用法を理解したうえで、日常的な会話場面を想定し、敬語が的確に使用できるような言語運用力の定着を図ります。	ICT活用	安道 里巳
			A組	美術教室(1F)	美術	グループによるクレイアニメ制作	粘土によるコマ撮り動画を制作します。一つの作品が脚本・舞台製作・照明・撮影・編集など、様々な役割分担の上に成り立つことを学び、共同で活動することの大切さを学びます。また、構図・造形・色彩・音楽などの芸術的表現を総合的に学習します。	アクティブラーニング・ICT活用	坂中 信介
	B組	3B教室(2F)	社会	学校とルール	ルールが身の回りに多くあることに気づかせ、「なぜルールを守る必要があるのか。」ということについて、グループに分かれ話し合いを行います。各グループごとに話し合いの内容を発表し、クラス全体での意見交流を通じて、ルールの必要性とルールを守る意義を理解していきます。	アクティブラーニング・ICT活用	戸上 幸		